

知っておこう!

# 『大腸がん』のこと!!

日本では、昭和56年以降死亡原因の第1位が、がんです。平成27年には、年間約37万ものかたが亡くなっています。一生のうちに約2人に1人が、がんにかかると言われています。

〔表1〕平成28年がんによる死亡数

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	胃	<b>大腸</b>	肝臓	膵臓
女性	<b>大腸</b>	肺	膵臓	胃	乳房
全体	肺	<b>大腸</b>	胃	膵臓	肝臓

今回は、がん死亡数で上位にある大腸がんについてお話ししたいと思います。  
 大腸は全長約1.5～2mの管で、盲腸から始まり上行結腸、横行結腸、下行結腸、S状結腸、直腸までを言います。大腸がんには直腸がんと結腸がんがありますが、特に結腸がんが増加しています。大腸がんになる原因には、肉、加工肉(ベーコン、ハム、ソーセージなど)を多く食べる食生活の欧米化、飲酒などが関係していると言われています。症状は血便、便通異常(便秘、下痢)、腹痛などですが、初期には自覚症状がないことが多く、早期発見するためには検査することが大切となってきます。  
 検査として最初に行うのが便潜血検査です。便の中に血液が混じっているかどうかを検査します。便は自宅で2日分採り、便の表面をこするだけなので簡単です。2日のうち1回でも「陽性」と判定された場合、精密検査を受ける必要があります。

町の大腸がん検診は40歳以上のかたを対象に年1回、問診および便潜血検査(2日法)を行っています。受診率〔表2〕は県平均と同じくらいを推移していますが、精密検査受診率〔表3〕は県平均を下回っています。

〔表2〕大腸がん検査受診率(40歳以上・がん検診結果統一集計より)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
皆野町	24.4%	24.0%	26.1%	25.2%	24.5%
埼玉県	23.0%	23.3%	23.8%	24.0%	27.4%

〔表3〕精密検査受診率(40歳以上・がん検診結果統一集計より)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
皆野町	46.8%	72.9%	57.8%	50.0%
埼玉県	58.0%	62.1%	63.4%	67.1%

大腸ポリープや痔があると「陽性」と判定されることがありますので、「陽性」と判定されたかたの中には「痔があるから陽性になった」と精密検査を受けないかたもいますが、実際に大腸に病気がないか、ということは精密検査をしないとわかりません。ポリープは数年かけて進行し、その一部ががん化することがありますので、「陽性」と判定されたかたは精密検査を受けることをおすすめします。